



明治の

清親

浮世絵師

光線画の向こうに



Kobayashi Kiyochika: A Retrospective

2016年 **3月12日(土)** — **4月17日(日)** ※会期中、一部展示替えを行います。

前期 | **3月12日(土)** — **3月27日(日)** | 後期 | **3月29日(火)** — **4月17日(日)**

月曜休館 ※3月21日(月・振休)は開館、3月22日(火)は休館 平日 = 10:00-17:00 (入場は16:30まで) 土日祝 = 10:00-17:30 (入場は17:00まで)

観覧料 = 一般 800(600)円 / 大学・高校生・65歳以上 400(300)円 / 中学生以下は無料

* ()内は20名以上の団体料金 * 展覧会初日3月12日(土)は入場無料 * 身体障がい者手帳または愛の手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は半額

 町田市立国際版画美術館

「海運橋 第一銀行雪中」 明治9年(1876)頃 町田市立国際版画美術館蔵 / 「団団珍聞」より 「一ツ半子味乃甘辛 珍年宴会」第577号附録 / 「自国自慢 東西狂歌問答」第570号附録 (以上、個人蔵) / 「大帆船」第496号 / 「眼を廻す 器械」第508号 / 「書生の苦学」第512号 / 「当世六変化」第562号 (以上、町田市立自由民権資料館蔵) 全て部分

あらい並んだ名作で
いいこと
たくさん
まちだ

清親

光線画の向こうに

ガス灯が灯る文明開化の街並みから日清・日露戦争まで、“明治”を描いた浮世絵師、小林清親(1847-1915)。没後100年を迎えた今、改めて注目が集まっています。

清親は弘化4年(1847)、江戸本所御蔵屋敷に下級役人の子として生まれました。青年期には幕臣として伏見の戦いに参戦し、動乱の幕末期を経験します。幕府崩壊後は住居や職業を転々としませんが、幼い頃より好きだった錦絵に生活の道を見出しました。明治9年(1876)、新しい東京風景を叙情的に描き出した『東京名所図』シリーズを刊行。季節や天候の繊細な移ろいを、光と影の巧みな表現で写したこの風景画は「光線画」と呼ばれ、浮世絵界に新たな風を吹き込みました。

明治14年(1881)を最後に『東京名所図』の制作から離れると、自由民権運動の気運高まるなか、雑誌や新聞を舞台に数々の諷刺画を描きます。また明治27年(1894)に日清戦争が勃発すると、光線画で培った光と影の表現を活かした戦争錦絵を発表。銅版画や石版画といった木版以外の版技法にも取り組み、晩年には肉筆画も描きました。江戸期には定番だった役者や美人を主な題材とせず、社会の動きや新しいメディアと向き合い続けた清親は、浮世絵史の最後に煌いた、まさに“明治の浮世絵師”といえます。

本展覧会では、清親の多彩な画業を一堂に紹介いたします。さらには、井上安治や小倉柳村から、織田一磨に川瀬巴水まで、清親に共感を示した絵師の作品を交え、約300作品で清親像を多角的に辿ります。

- 1 「天王寺下衣川」 明治13年(1880) 町田市立国際版画美術館蔵
- 2 「千はんくい両国橋」 明治13年(1880) 町田市立国際版画美術館蔵
- 3 「天福六家撰 田母野秀頼君の肖像」 明治16年(1883) 町田市立国際版画美術館蔵
- 4 「仮装舞踏会(無題)」 明治20年(1887) 神戸市立博物館蔵
- 5 「我軍隊牛莊城市街戦撮影之図」 明治28年(1895) 慶應義塾蔵(前期)
- 6 「カンバスに猫」 明治11-12年(1878-79)頃 東京国立博物館蔵(前期)
- 7 「武蔵百景之内 品川見越ノ月」 明治17年(1884) 渡邊木版美術画舗蔵(後期)



Image: TNM Image Archives

関連イベント

● 記念講演会

「開化の浮世絵師・清親を語る」

講師 = 酒井忠康(世田谷美術館長)

4月3日(日) 14:00~15:30

会場 = 1階講堂 先着150名 ※聴講無料

● 美術館が寄席に! 清親落語会

落語家 = 林家正雀

演目 = 「ぞろぞろ」ほか

3月27日(日) 14:00~15:00

会場 = 1階講堂 先着150名 ※観覧無料

※13:00より1階受付にて整理券をお渡しします。

● 現代作家による公開制作

「ツツミ アスカ 時間と層の耀き」

一木版拓摺りとインクジェットプリント、

古典技法と現代技法の融合—

ツツミ アスカ(美術家)

3月19日(土) 13:30~16:00 ※途中休憩含む

会場 = 1階アトリエ ※入場無料・見学自由

※混雑時は入室を制限する場合があります。

● プロムナード・コンサート

小池純子(ジャズピアニスト)

3月13日(日) ①13:00~ ②15:00~(各回30分程度)

会場 = エントランスホール

※どなたでもご鑑賞いただけますが、お席のご用意はありません。

● ギャラリートーク

館長によるスペシャルトーク

4月10日(日)

担当学芸員による作品解説

3月20日(日)、4月17日(日)

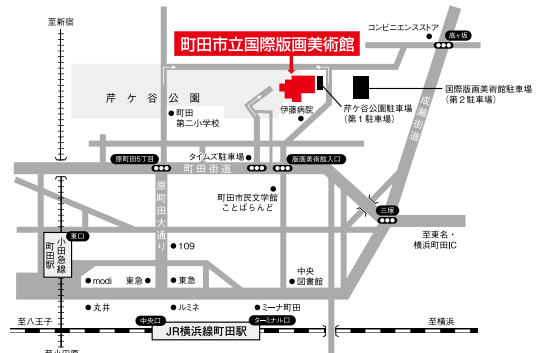
※各日14:00から45分程度。観覧券をご用意のうえ、2階企画展示室入口にお集まりください。

同時開催

花開く明治の版画

1月5日(火)~4月17日(日)

常設展示室 入場無料



町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田4-28-1

TEL 042-726-2771/0860

小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分

問い合わせ: 町田市イベントダイヤル TEL 042-724-5656

http://hanga-museum.jp/